

やまなしの福祉

2025 No.376

春

SPRING

〈P02〉
〈P05〉
〈P06〉
〈P07〉

特集 やまなし
地域福祉フォーラム 2025
～つながりをはぐくむ～

令和 7 年度貸付制度のご案内

生活支援課 information

〈P08〉 令和 6 年度生活困窮者自立支援事業
「地域共生セミナー」開催報告
県社協賛助会員のご紹介

〈P09〉 | ねんりんピックはばたけ鳥取 2024

〈P10〉 | 介護生産性向上総合相談窓口のご案内

〈P12〉 | 善意をありがとう ほか



想像してみよう これからの まち・ひと・くらし

YAMANASHI COMMUNITY WELFARE FORUM 2025

開催テーマ：つながりをはぐくむ



特集 Special feature

やまなし地域福祉 フォーラム2025

～つながりをはぐくむ～



やまなし地域福祉フォーラム2025

～つながりをはぐくむ～

山梨県社会福祉協議会は、孤独・孤立を防ぎ、地域における多様な団体・人々との連携・協働による支援体制を整備するため、令和5年5月にやまなし地域福祉応援プラットフォームを設置し、令和7年2月3日には「やまなし地域福祉フォーラム2025」を開催しました。今号では当日のフォーラムの様子をレポートするとともに、参加者が語るプラットフォームへの期待の声を紹介します。

オープニングトーク Opening Talk

「地域とのつながりでつくる 包括的支援・重層的支援体制整備への取り組み」

令和6年4月から、地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備事業に取り組んでいる山梨市。子ども・高齢者といった対象者ごとの支援体制だけでは、住民の様々なニーズへの対応ができません。そこで、世代・属性を越えた人々がつながり、互いの活動や課題を共有するため、ミーティングやイベント等で様々な人たちが知り合う機会をつくり、住民の暮らしを重視した狭間のニーズに対応できる仕組みづくりについて、お話いただきました。誰にとっても地域が心地良い居場所となる山梨市を目指しています。



地域支え合いプロジェクトアドバイザー
保坂和輝さん



山梨市役所 高齢者・介護支援課
支援つなげる担当 主査 長野博さん /
保健師 宮本佳代子さん

インプットトーク Input Talk

「現代社会における孤独と不安～つながりが 減少する社会において地域に何ができるか～」

単身世帯や生涯未婚者が急増し、家族の形や個人と社会のつながりのあり方が変化する中、孤独や孤立にまつわる様々な社会課題が浮き彫りとなっています。その背景には、物的に豊かになり、個人を尊重する思想が広がった結果、無理して人とつながらなくてもよくなった社会の到来が挙げられます。また、つながりを維持するためには、個々人の積極性が求められるので、「つながりから撤退する人が増え、さらなる孤独・孤立の拡大」が懸念されます。現代では、身近な場につながりを築く「つながりのお膳立て」が必要であり、その際は、相手にも自分にも求めすぎないおらかさがポイントとなることをお話いただきました。



早稲田大学文学術院 文化構想学部
教授 石田光規さん

テーマ別懇談会 Thematic Roundtable Discussions

地域共生に欠かせない3つのテーマ別懇談会を開催し、実際に地域で活動を行っている団体、企業の方の話題提供を基に、これからの地域づくりのヒントを学びました。

「活動を支え合う “ネットワーク”のこれからを考える」

コーディネーター

山梨県立大学 教授 高木寛之さん

話題提供者

- ・蓬沢いきいきサロン 代表 猪狩裕太さん
- ・やまなし地域子ども食堂グループにじいろのわ 代表 内藤陽一さん
- ・南アルプス市民活動センター 市民活動アドバイザー 保坂久さん

「働きたいに寄り添う “就労サポート”を考える」

コーディネーター

NPO法人大志 理事長 井上能孝さん

話題提供者

- ・小菅村社協 事務局次長 加藤弘美さん
- ・株式会社ササキ 常務取締役 佐々木麻彩さん
- ・北杜市役所 福祉保健部福祉課 就労支援員 野口洋子さん

「災害時の地域コミュニティを 支える“福祉教育”を考える」

コーディネーター

長野県社協まちづくりボランティアセンター
主査 山崎博之さん

話題提供者

- ・防災ネットワークしもすわ 副会長 高橋敦子さん
- ・ボランティア団体防災ブレイメン 代表 三枝則子さん
- ・昭和町社協 係長 小沢和典さん

01

一般社団法人
ヴァンフォーレスポーツクラブ

代表理事 長田 圭介さん



2007年から継続している介護予防教室。
今では県内4市町村で年間延べ950人の
方が参加。

Q 質問 1 普段はどのような活動をされていますか？

ヴァンフォーレ甲府は、山梨県唯一のプロサッカーチームとして、Jリーグに加盟しています。株式会社が運営するプロスポーツでの興行だけでなく、一般社団法人として、様々な方々と協力し幼稚園・保育園への巡回指導、介護予防教室、環境への取り組みなど社会や地域の課題解決にも積極的に取り組んでいます。

私たちクラブの起源は、甲府一高OBが集まり結成された鶴城クラブが1965年に甲府サッカークラブとして活動し始めたことに始まります。60年の歴史の中で、存続の危機もありましたが、地域の方々の応援や支援があり、今のヴァンフォーレ甲府の姿となっています。そんな歴史から常に地域への恩返しという気持ちを忘れず、自分たちにできることを積極的に地域に還元していきたいという思いが全ての活動の源です。

Q 質問 2 「やまなし地域福祉フォーラム2025」に参加した理由は？

日本において福祉は、まちづくりに欠かせないことであり、地域をよくするためには必要不可欠なことだと思っています。地域の様々な方々とつながり、学ぶ中でもっと地域社会のことを知りたいという思いがありました。

前述の通り、私たちはサッカー、スポーツを通して、地域の方々と交流し、喜怒哀楽を共有する中で、人生を豊かにするお手伝いができればという気持ちを持っているので、これからの活動のヒントを得る機会になればと思い、参加しました。

Q 質問 3 参加した感想は？

アクティブに活動されている人の熱量を感じました。農業と福祉の連携などジャンルを超えて活躍している方々の実践例を聞いて、その考え方や取り組みがとてもプラスになったと思います。やはり感情を動かし、行動に移していくという原動力は、人だなど改めて思いました。そのような活動ができる人は、勝手には育たないと思うので、教育や仕掛けづくりが大切だと感じました。

私たちヴァンフォーレには、サッカーやそれ以外の様々な地域活動を通して、支援や応援して下さる多くの仲間がいます。その強みを活かし、まず我々が前向きな小さなアクションを起こすことで共感を生むことができれば、その輪は広がり地域の中で何か良い変化を生むことができる可能性があると感じました。

Q 質問 4 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」へ期待することは？

普段から、様々なフォーラムや地域交流の場に参加させてもらうことがあります。たくさんの方と関わり、刺激をもらい、学びとなっています。一方、参加者を見渡すと領域を超えて参加している方が少ないように感じる場面があります。

やまなし地域福祉応援プラットフォームは、制度、分野を超えたつながりづくりを目的にしていると思うので、潜在的につくられている分野の壁のようなものを壊していけるような取り組みがもっともっと広がって欲しいと思っています。我々もその協力ができればと思っています。

02

有限会社アイル 代表取締役
野呂 正人さん(真ん中)NPO法人 WakuWakuの家 代表 有限会社アイル 社会貢献推進部
天野 有紀さん(右) 山本 あす香さん(左)

Q 質問 1 普段はどのような活動をされていますか？

天野) こどもたちが主体的に体験することをコンセプトに、山梨市から800坪の敷地と120年を超える古民家をお借りして、フリースクール、民間学童、こども食堂、野外体験活動などを行っています。

野呂) もともと山梨市で、レーシングカーの設計・製作をする会社の経営をしていました。家庭の事情で、神奈川県にある家業のキャンプ場を手伝いに戻り、数年で帰るつもりが、20年の年月が過ぎてしまいました。キャンプ場にお客さんとして来ていた山本と話したとき、福祉について影響を受け、今はキャンプ場と会社の再建、二足の草鞋を履いています。

山本) 私が福祉の仕事をしていたとき、地域のみなさんとのつながりから多くのことを学びました。何かきっかけがあれば、福祉とのつながりをつくりたいと思い、野呂とともに活動しています。

Q 質問 2 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」に参画した理由は？

天野) 県社協の方が当法人に来られ、プラットフォームのことをご紹介いただきました。つながることで、いろいろなことが出来るのではないかとワクワクして、参画を決めました。

野呂) たまたまお昼に立ち寄ったお店で県社協の方と出会い、山梨市にあるWakuWakuの家を紹介していただきました。以前から福祉とつながりたいと考えていたこともあり、参画を決めました。

Q 質問 3 つながって、変わったことは何ですか？

天野) 出会った日から、庭の草刈り、木の剪定、遊具の修理、「こどもマルシェ」などのイベントのサポートなどで、お力添えいただいています。自分たちが大事に思っていることを同じように大事に思ってくれる人が近くにいることは、とても心強いです。こどもたちを可愛がってくださり、私たちスタッフも大きな安心と勇気をいただいています。

野呂) こどもたちが目を輝かせて一斉に挨拶してくれて、代表の天野さんにもあたたかく迎え入れてもらい、つながることの大切さを感じました。

山本) 初めてWakuWakuの家を訪ねたとき、あまりにもこどもたちが可愛くて、突然ながら庭の草刈りをしてもいいですか、と申し出てしまいました。

野呂) もっと早く知り合いたかったです。これまで直接、こどもたちの支援に関わる方とお話する機会がなかったので。でも今は、思い描いていたことができるようになって、ワクワクしています。

山本) 会社の再建が軌道に乗ったら、今後は、未来あるこどもたちに資金面で支援する活動をしたいと考えています。



WakuWaku の家の前で、こどもたちと一緒に

Q 質問 4 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」に参画を考えている方へのメッセージ

野呂) 私のように思いを持ち続けていれば、つながることができると思います。

山本) 子育て世代だからダメ、シニア世代だからダメなんてないと思います。あなたとつながりたいと、待っている人がきっといると思います。

天野) 助けてと言えるといいなと思います。お願いすることは勇気がいると思いますが、つながることで、もっと力強く広がっていける関係ができると思います。

03

真-SIN-治療院 院長(鍼灸あん摩マッサージ指圧師)
社会福祉士・精神保健福祉士
スクールソーシャルワーカー 深澤 真澄さん



Q 質問 1 普段はどのような活動をされていますか？

中学生の頃から肩こりと頭痛に悩まされ、家族にマッサージをしてもらうことが好きだったことから鍼灸の道へ進み、10余年が経ちました。治療院を開院し施術をする中で、身体だけでなく、心や生活のケアも重要であることに気づき、社会福祉士と精神保健福祉士の国家資格も取得しました。現在は、「身体とココロと生活とをトータルで整える」をコンセプトに、身体の施術に加え、心のケア、生活の調整にもアプローチしています。

また、5年前から県のスクールソーシャルワーカーとして、不登校児や発達課題のあるこどもたちに対する環境調整の支援を担当しています。どちらの仕事も幅広い悩みに対峙する場面が多いですが、人と人のつながりを大切にしながら、こどもとご家族に寄り添う日々を送っています。

Q 質問 2 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」に参画した理由は？

「やまなし地域福祉フォーラム2024」に参加した際に、プラットフォームの存在を知りました。人と人の「つながり」はもともと大切にしていたことだったので、様々な人とつながることで今後の活動の支えや一緒に何かできるかもしれないと思い、参画させていただきました。

Q 質問 3 今後の活動・展望は？

私の住む昭和町から国母周辺は他の地域に比べて居場所やフリースクールが数少ない状況です。そんな地域に対して私ができることを考えた時に、どんなこどもたちでも自分らしく安心して過ごせる場所をつくりたいと思うようになりました。現在、こどもたちの未来図を一緒につくる居場所「まゆ」や、フリースクール「夢舎・糸(ゆめや・つむぎ)」の始動に向けて準備中です。実際の場だけでなく、課題を抱えるこどもにとっては外出や移動自体のハードルが高いため、まずはつながることから始められるよう、オンラインで段階的に関係性を築いていけるような仕組みづくりも考えています。



自分らしく安心して過ごせるよう、
優しくこどもたちに寄り添う

Q 質問 4 これからのプラットフォームに期待することは？

これまでスクールソーシャルワーカーとして延べ100人以上のこどもたちの相談対応をしてきましたが、行政の支援だけでは限界があると感じています。カテゴリーに分類されないグレーゾーンの子を取りこぼさないためにも、地域全体で包括的で横断的な切れ目のない支援が必要です。各種団体や関係者が連携しネットワークを構築していくためにも、こうしたプラットフォームでの出会いや意見交換が重要だと思います。私自身、研修会やフォーラムで多くの方と知り合い、刺激もたくさん受けましたので、今後さらに多様な人たちが行き交う場となって、地域課題に対する相互作用が高まっていくことを願っています。

Let's start "Connection"

やまなし地域福祉応援プラットフォームのキーワードは「支える人を支える仕組みづくり」「コラボレーションによる支援活動強化」。様々なつながり×アクションを生むハブとなるよう、会員のみならずとも取り組みを進めています。

会員が主体となり、お互いのできることを持ち寄る、ゆるやかなネットワークを目指しています。プラットフォームの仲間になって、一緒に活動しませんか。

入会の申し込みは
QRコード先
フォームから
行えます！



貸付制度

山梨県社会福祉協議会では、児童養護施設等を退所された方や就職をされる方を支援するため各種貸付事業を行っています。

1 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

1の貸付のご案内▼

進学や就職などで山梨県内の児童養護施設等を退所または里親委託が解除された方に、資金の貸付けを行うことで、安定した生活と円滑な自立を支援します。条件を満たした場合、貸付金の返還を免除します。



貸付内容

種類	貸付対象者			交付・貸付期間	貸付額
	退所または委託解除から5年が経過するまで		入所中または委託中の希望者		
	進学者	就職者			
生活支援費	○	—	—	在学する期間	月額5万円以内 ※定期的に医療機関を受診している場合は、医療費の実費相当額を増額できる
家賃支援費	○	○	—	進学者は在学する期間 就職者は退所または委託解除から2年間を限度とする	1カ月あたりの家賃相当額（管理費・共益費を含む） ※居住地の生活保護住宅扶助額を限度とする
資格取得支援費	○	○	○	一括交付	25万円以内 就職に必要な資格取得に要する費用の実費

貸付申請は、それぞれ1回まで、児童養護施設等または児童相談所を経由して申請してください。

2 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

『高等職業訓練促進給付金』を活用して養成機関に在学し、資格取得を目指すひとり親家庭の親に対して、養成機関の入学準備金及び就職準備金の貸付けを行うとともに、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金の貸付けを行うことで、自立の促進を図ることを目的としています。条件を満たした場合、貸付金の返還を免除します。

2の貸付のご案内▼



貸付内容

種類	貸付対象者	交付・貸付期間	貸付額
入学準備金	高等職業訓練促進給付金を受給し、養成機関に入学した方	一括交付	50万円以内
就職準備金	高等職業訓練促進給付金を受給し、養成機関の課程を修了し資格を取得した方	一括交付	20万円以内
住宅支援資金	母子・父子自立支援プログラムの策定を受けて自立に向けて意欲的に取り組んでいる方	最大12カ月まで	月額4万円以内

【お問合せ先】生活支援課 福祉資金担当 TEL : **055-251-3900** (平日8時30分～17時15分)

のご案内

Loan Programs



ひとり親家庭の親、また介護や保育分野の資格取得や
貸付要件や申請方法は、各お問い合わせ先までお問い合わせください。

介護・保育分野の就職を応援

山梨県福祉人材センターでは、介護・保育分野への就職や資格取得をサポートする各種貸付事業を行っています。一定の条件を満たすと、貸付金の返還を免除します。詳しい申請条件は、山梨県福祉人材センターホームページ(各種貸付金のご案内)にてご確認ください。

3 介護(高齢者、障害児者)分野貸付事業

貸付内容

種類	貸付対象者	貸付額
介護福祉士・ 社会福祉士修学資金	介護福祉士(社会福祉士)養成施設に在学中の方で、卒業後山梨県内の事業所等で介護福祉士(社会福祉士)として従事する意思のある方	月額5万円以内 入学準備金・就職準備金 (各20万円以内) ※国家試験受験対策費 (1年あたり4万円以内)※は介護福祉士のみ
介護福祉士実務者研修 受講資金	介護福祉士の資格取得を目指し、 介護福祉士実務者養成施設に在学中の方	20万円以内
介護人材再就職 準備金	介護職員として一定の知識や経験があって、 現場から離れていたが、福祉・介護分野へ再就職する方	40万円以内
介護分野就職支援金	他業種で働いていたが、介護分野に介護職員等として就職する方	20万円以内
障害分野就職支援金	他業種で働いていたが、障害福祉分野に介護職員等として就職する方	20万円以内

4 保育分野貸付事業

貸付内容

種類	貸付対象者	貸付額
保育士修学資金	保育士養成施設に在学中の方で、卒業後山梨県内の 保育所等で保育士として従事する意思のある方	月額5万円以内 入学準備金・就職準備金 (各20万円以内)
保育士就職準備金	保育士として、県内の保育所等に新たに週20時間以上で 勤務する方	20万円以内
保育士就職準備金	①未就学児を持つ保育士で、県内の保育所等に新たに週20時間 以上で勤務する、もしくは育児休業等から復帰する方	保育料の半額 (最大1年間) 上限月額2万7千円
	②未就学児を持つ保育士で、県内の保育所等を利用しており、 保育所等の勤務時間帯により、子ども預かり支援事業を利用する方	保育料の半額 (最大2年間) 上限年額12万3千円
保育補助者雇上費 貸付	保育所等が、保育士資格を持たない「保育補助者(保育士の補助を 行うもの)」の雇上げに必要な費用の一部 ※予算の上限に達した時点で申し込みを終了とさせていただきます。	上限年額295万3千円 (最大3年間)

【お問合せ先】

山梨県福祉人材センター
貸付・研修担当

TEL: 055-254-9955
(平日9時~17時)

3・4の貸付の
ご案内▶▶



令和6年度 生活困窮者自立支援事業 地域共生セミナーを開催しました▶▶▶

生活困窮者自立支援事業 地域共生セミナーは、生活困窮者の支援に理解のある地域づくりの推進を目的に毎年開催しています。今年度は「生活困窮者自立支援における発達障害の理解と支援」をテーマに、昨年10月22日に富士川町民会館、23日に勝山ふれあいセンターで開催しました。講師として、有限会社SNOW DREAM 代表 山口久美氏をお招きし、「脳機能の特性の理解と支援のヒント」と題してご講演いただきました。

講演では、脳の情報処理の仕方に触れながら、発達障害の方とそうでない方との記憶・思考パターンや感覚・運動の特性の違いについて学び、その違いに合わせるための関わり方や環境の整え方のヒントをいただきました。さらに、発達障害のある方は、「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」の五感の過敏さや鈍感さがあり、日常生活において、困難さを抱えている場合があることを教えていただきました。

参加者からは、「脳機能の違いを知れたことで、発達障害の方の特性をより深く知ることができた。」「セミナーに参加し、これまで経験したことで腑に落ちたところや納得できたところがあり、大変勉強になった。」など多くの感想が寄せられました。

発達障害の方と関わりを持つ機会において、特性の違いを理解し、よりそう姿勢を持つことが共生社会への一歩となるのではないのでしょうか。



県社協賛助会員のご紹介



本会は「人と人が支えあい、認めあいながら、だれもがその人らしく地域で安心して生活できる、福祉文化の創造」を経営理念に、社会福祉に関わる皆様と協力をしながら地域福祉を推進するための事業に取り組んでいます。

賛助会員制度は、本会の理念にご賛同いただき、資金的な面から本会の活動をご支援いただくものです。会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、引き続き温かいご支援をお願いいたします。

※50音順・敬称略

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ✦ アピオセレモニー株式会社 | ✦ 山日YBSグループ(株)山梨日日新聞社 |
| ✦ AMG株式会社 | ✦ 神田温泉 |
| ✦ anlib株式会社 | ✦ 税理士法人中山・久保嶋会計 |
| ✦ 小田切 あけ美 | ✦ 太平ビルサービス株式会社 甲府支店 |
| ✦ 学校法人 帝京科学大学 帝京福祉専門学校 | ✦ 東洋羽毛首都圏販売株式会社 |
| ✦ 株式会社 峡南堂印刷所 | ✦ 野村証券株式会社 |
| ✦ 株式会社 サンカイゴ | ✦ 富士急行株式会社 |
| ✦ 株式会社 正直堂 | ✦ 望月 ひとみ |
| ✦ 株式会社 松下製作所 | ✦ 山梨学院短期大学 |
| ✦ 山日YBSグループ(株)アドブレン社 | ✦ 山梨信用金庫 |
| ✦ 山日YBSグループ(株)山梨放送 | ✦ 山梨中央銀行 |
| ✦ 山日YBSグループ(株)YBS T&L | |

※掲載の承諾をいただいた団体・個人を掲載しています。

ねんりんピック はばたけ鳥取2024

山梨県選手団132名が参加しました!

「咲かせよう砂丘に長寿と笑みの花」をテーマに、第36回全国健康福祉祭 鳥取大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)が令和6年10月19(土)~22日(火)にかけて鳥取県内各地を会場に開催されました。山梨県からは、132名の選手が19種目の競技に参加しました。

開会式当日は、早朝からあいにくの悪天候となり、会場をヤマタスポーツパーク陸上競技場から、県民体育館に変更し式典内容も一部簡略化して行われ、山梨県からはテニスチームが選手を代表して参加しました。総合開会式に参加予定であった竹内団長代理(県社会福祉協議会副会長)をはじめ選手の皆さんには、大変残念な大会初日となりましたが、大会2日目からは鳥取県内各会場にて、日頃の練習の成果を十二分に発揮されました。

県勢はソフトバレーボールチームがブロック優勝を取めた他、いくつかの種目で上位入賞や、健康長寿のあかしである最高齢者賞等を受賞するとともに、スポーツを通じ他県の選手との交流を深めました。また、文化交流の美術展にも本県の代表作品を出品しました。

11月22日(金)には山梨県庁にて帰県報告会を行い、大会に出場した選手の代表者や入賞者が出席しました。山梨県選手団を代表して、小澤副団長(県社会福祉協議会常務理事)が、長田副知事に県旗を返還し大会の成果を報告しました。小澤副団長は、「さらなる目標に向かって精進し、地域社会や長寿社会づくりに貢献したい」と抱負を述べました。

来年度の第37回全国健康福祉祭は岐阜県で開催予定です。

山梨県選手団入賞結果一覧表

● スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会

優勝	ソフトバレーボール (1位グループブロック優勝)	都留市 TSV
優勝	囲碁(個人戦 杉神社ブロック全勝)	内藤 富明(南アルプス市 85歳)
優勝	囲碁(個人戦 絶唱ブロック全勝)	高瀬 美紀(甲府市 71歳)
準優勝	水泳(50m 平泳ぎ 85歳以上 男性)	梶原 勤(山梨市 91歳)
準優勝	水泳(25m 平泳ぎ 85歳以上 男性)	梶原 勤(山梨市 91歳)
準優勝	水泳(50m 自由形 85歳以上 男性)	水上 光生(山梨市 85歳)
準優勝	水泳(25m 背泳ぎ 85歳以上 男性)	水上 光生(山梨市 85歳)
第3位	サッカー(ブロック3位)	甲府東シニア
第3位	囲碁(団体戦)	山梨県囲碁チーム
優秀賞	マラソン(70歳以上 5km 女性 第4位)	土屋 知子(甲斐市 77歳)
優秀賞	剣道(第4位)	山梨県剣道チーム
特別賞	テニス(女性最高齢者賞)	風間 裕子(笛吹市 79歳)
特別賞	弓道(男性高齢者賞)	佐野 辰巳(南部町 89歳)
特別賞	弓道(女性高齢者賞)	小林 睦美(北杜市 81歳)
特別賞	水泳(男性高齢者賞)	梶原 勤(山梨市 91歳)

● 美術展

特別賞 写真(最高齢者賞) 大須賀 和夫(笛吹市 94歳)

● 山梨県選手団
最高齢者

男性 水泳 梶原 勤(山梨市 91歳)

女性 ゲートボール 宮崎 夏子(北杜市 87歳)



総合開会式 山梨県選手団



総合開会式



ソフトバレーボールチーム



囲碁チーム表彰式



帰県報告会



結団壮行式

10月10日、緑ヶ丘スポーツ公園小体育館にて、山梨県選手団結団壮行式を行いました。井上弘之、山梨県福祉保健部長から小澤副団長へ県旗が手渡され、選手を代表して剣道チームの大野稔さんは、「技と力を遺憾なく発揮し、全国の選手とふれあいと交流を図ります」と誓いの言葉を述べました。

介護生産性向上 総合相談窓口のご案内

介護職員の負担軽減を図るとともに、より質の高い介護サービスを提供するため、介護事業所の業務改善や人材確保、介護ロボット・ICT機器の導入等、介護現場の生産性向上の取り組みなどについて相談をお受けします。

？ こんなお悩みはありませんか？ ？

介護現場の
生産性向上って
何から始めれば
いいの？

介護ロボット・
ICT 機器って
何があるの？
どれを選べば
いいの？

介護助手などを
受け入れるための
体制作りをしたい。

書類が多すぎて
困っている。
ペーパーレスに
したい。




各種相談
生産性向上に関する様々な相談に対応します。必要に応じて関係機関の紹介もします。

常設展示
介護ロボット・ICT機器を実際に見て・触れて・体験できます（要予約）。展示機器、予約方法はセンターHPをご覧ください。

セミナー開催
介護現場の生産性向上、介護ロボット・ICT導入、活用に関するセミナー等を開催します。センターHPでお知らせします。

問い合わせ先
介護福祉総合支援センター（介護支援センター）
TEL:055-254-8680

センターHPは
こちらから▶▶



Comprehensive Consultation Service for Improving Caregiver Productivity

ご利用している福祉サービスについて
「こうしてほしい」
と
思っていないませんか？
「なおしてほしい」
と
望んでいませんか？

山梨県福祉サービス運営適正化委員会が
疑問・要望などのご相談に応じます。

山梨県福祉サービス運営適正化委員会



住所 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ4階
受付時間 平日8時30分～17時15分
電話 **055-220-3030**

現在、保育施設で働いている働いていないにかかわらず
保育士資格をお持ちの方、**保育士資格届出登録**を！

当センター(福祉のお仕事サイト内)に届出をしていただく制度です。保育情報や研修案内などを受け取ることができます。

やまなし保育士・保育所支援センター

TEL:055-254-1821


届出登録は
こちらから

わになって**た**くさんの**あ**んしんづくりを**め**ざして
やまなしの地域づくりを応援する情報メディア
「わたあめ」ができました！

県社会福祉協議会は、県内で生まれる「であい・つながり・ささえ合い」などの姿を記録し、発信していくことで、共同体のつながりの意義を再確認できる“やるじゃん、地域”の情報をお届けしています。

わたあめ
WATAAME

<https://www.y-wataame.com/>



令和6年度

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン	
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中） うち現金支払限度額（期間中）	200万円 20万円	200万円 20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度	
園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
	手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
	通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
	天災補償	なし	あり

基本セット補償保険料計算例 100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害	87,000円
870円 ×100名 ×1口	
合計	116,300円

セットプランを
おすすめします!!



個別プラン

プラン1 保育所業務の補償

- 基本補償
 - オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
 - オプション2 ● 保育所の借用不動産賠償事故補償
 - オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
 - オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- 個人情報漏えい対応補償
- 保育所の什器・備品損害補償

プラン2

- 保育所利用者の補償
- 園児の傷害事故補償
 - 来園者の傷害事故補償
 - 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3

- 職員等の補償
- 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
 - 役員・職員の傷害事故補償
 - 役員・職員の感染症罹患事故補償
 - 雇用慣行賠償補償

プラン4

- 法人役員等の補償 社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL：03(3349)5137
 受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL：03(3581)4667
 受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

NEWS

善意をありがとう

Thank you for your good will.

山梨ダイハツ販売株式会社様 電動車いすWHILLのご寄贈



山梨ダイハツ販売株式会社(中島 健二 代表取締役社長)様より、電動車いす(WHILL)2台を寄贈いただきました。寄贈式当日は、青木 保 常務取締役営業本部長様より、小澤祐樹県社

協常務理事に目録と電動車いすを贈呈いただきました。寄贈いただきました電動車いすは、介護をされているご家族や介護事業所に紹介するほか、介護講座や体験学習の一環として、介護支援センターに来られる小・中・高校生等、広く県民の皆様に車いす体験等、展示・体験用に活用させていただきます。ありがとうございました。

(株)ツルハホールディングス、 クラシエホームプロダクツ販売(株)、 クラシエフーズ販売(株)、クラシエ薬品(株)様 車いすのご寄贈



(株)ツルハホールディングス(鶴羽順 代表取締役社長)様、クラシエホームプロダクツ販売(株)(上嶋一善 代表取締役社長)様、クラシエフーズ販売(株)(橋本光央 代表取締役社長)様、並び

にクラシエ薬品(株)(草柳徹哉 代表取締役社長)様より車いす2台を県内の福祉施設へ寄贈いただきました。ツルハグループでは店舗で共同してキャンペーンを行い、その売り上げの一部で車いすを購入し、各県の社会福祉協議会、福祉施設等に寄贈いただいています。本県では、今回で13回目となり、寄贈台数は合計で105台となりました。ありがとうございました。

山梨中央銀行職員組合様 使用済み切手等のご寄贈



山梨中央銀行職員組合(鈴木洋平 中央執行委員長)様より、使用済み切手5.1kgと未使用タオル65枚のご寄贈いただきました。社会貢献として平成

10年から寄贈いただいた使用済み切手は、今回で合計197.3kgとなりました。使用済み切手は、福祉施設での活動資金などに役立てられています。ありがとうございました。

大同生命保険株式会社 社会貢献の会様 寄付金のご寄贈



大同生命保険株式会社 社会貢献の会(吉田真 会長)様より、障がい者施設2施設にそれぞれ20万円ご寄贈いただきました。大同生命社会貢献の会は、募金・寄付活

動やボランティア活動への参加・支援などを行っており、「愛—ともに手をたずさえて」をスローガンに、全国の役員からの募金をもとに、障がい者施設への寄付を行っています。ありがとうございました。

読者アンケートのお願い

今後の広報誌づくりの参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。

QRコードよりご回答ください。



広報誌「やまなしの福祉」は、本ホームページでPDF版をご覧いただけます。バックナンバーの閲覧もできますので、ぜひご利用ください。

<http://www.y-fukushi.or.jp>

👉 ここから
チェック!!



この広報誌の作成費用の一部に赤い羽根共同募金配分金を充てています。

